

平成24年行政事業レビューシート

(文部科学省)

<b>事業名</b>		留学生の募集等の実施		担当部局庁	高等教育局	作成責任者			
<b>事業開始・終了(予定)年度</b>		平成13年度開始		担当課室	学生・留学生課留学生交流室	学生・留学生課長 松尾 泰樹			
<b>会計区分</b>		一般会計		施策名	XⅢ-1 国際交流の推進				
<b>根拠法令 (具体的な条項も記載)</b>		-		関係する計画、通知等	「留学生30万人計画」骨子(平成20年7月29日策定) 「新成長戦略」(平成22年6月18日閣議決定)				
<b>事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)</b>		アジア諸国等の将来のナショナルリーダーとして活躍が期待される若手の行政官等を我が国に招へいし、日本に対する理解を深めることを通じて、我が国と世界各国の指導者等の人的・知的ネットワークを創るとともに、政策立案機能の向上に寄与するヤング・リーダーズ・プログラム(YLP)を推進する。							
<b>事業概要 (5行程度以内。別添可)</b>		国費外国人留学生制度の一つであるヤング・リーダーズ・プログラム(YLP)に参加する外国人留学生を募集・選考し、5コース(行政、地方行政、法律、ビジネス、医療行政)を実施する。							
<b>実施方法</b>		<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
<b>予算額・執行額 (単位:百万円)</b>				21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
		予算の状況	当初予算	26	27	27	29	28	
			補正予算	0	0	0	0		
			繰越し等	0	0	0	0		
			計	26	27	27	29	28	
		執行額	25	22	27				
執行率(%)	96.2%	81.5%	100.0%						
<b>成果目標及び成果実績 (アウトカム)</b>		成果指標			単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)
		我が国を含む諸外国の友好関係の構築、アジア諸国等の政策立案機能の構築・向上に我が国が寄与する。		成果実績					
				達成度	%				
<b>活動指標及び活動実績 (アウトプット)</b>		活動指標			単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
		各分野のナショナル・リーダー育成に相応しいYLPコースの実施		活動実績 (当初見込み)	コース	5	5 (5)	5 (5)	— (5)
		YLPコースの採用人数		活動実績 (当初見込み)	採用人数	68	68 (70)	68 (60)	— (70)
<b>単位当たりコスト</b>		4,670千(円/コース) 343千(円/人)		算出根拠	平成23年度執行額(23,352千円)/コース数(5コース) 平成23年度執行額(23,352千円)/採用人数(68名)				
平成24・25年度予算内訳	<b>費目</b>		24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	旅費		22.3百万円	21.9百万円					
	庁費		5.5百万円	5.5百万円					
	謝金		0.7百万円	0.6百万円					
	計		29百万円	28百万円					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	本事業は、我が国を含む諸外国の友好関係の構築、アジア諸国等の政策立案機能の構築・向上に我が国が寄与するものであることから、国が実施すべき優先度の高い事業である。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	—	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	費目や使途は、プログラムの実施に伴う研修の講演謝金や旅費等に限定されており、受益者との負担関係の妥当性、資金の流れの支出の合理性においても問題はない。旅費・庁費等の支出の際は、複数者の見積りを取り、事業の実施にあたり最も効率的な事業者に対して支出を行い、コストの削減に努めている。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	活動実績は見込みに見合ったものであり、優秀な留学生の継続的な受入れにつながっている点から、本事業の実効性は高い。国際交流に貢献するとともに、我が国を含む諸外国の友好関係の構築、アジア諸国等の政策立案機能の構築・向上に我が国が寄与するという成果目標にもつながるものである。
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名   —	
	—	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果		<p>・アジア諸国等の将来のナショナルリーダーとして活躍が期待される若手行政官を毎年70名程度招へいし、我が国の大学が提供する5つのコースを受講することで、我が国とアジア諸国等の人的・知的ネットワークの形成に役立っている。</p> <p>・しかしながら、現地でのリクルートや選考試験に伴う旅費支給に時間を要していることが課題であり、速やかな旅費手続き・支出に努めることが必要である。</p> <p>・経費の執行に関しては、執行一覧を作成し、謝金、旅費、庁費の使途に応じて支出先・使途を適切に把握している。</p>	
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善		<p>1. 事業評価の観点：本事業は、アジア諸国の若手行政官等を我が国に招聘し、我が国と世界各国の指導者等の人的・知的ネットワークを形成する事業であり、予算執行状況の観点から検証を行う。</p> <p>2. 所見：本事業は、所掌する行政事務(ヤング・リーダーズ・プログラムの募集・選考経費など)を推進するために必要な経費であり、概ね計画通りに予算執行されたものと考えられるが、更なる事業の効率化を目指し、積算単価を再検証するなど、引き続きコスト削減に努めるべきである。</p>	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
縮減		<p>これまでの執行実績を踏まえ、対象国現地調査に係る旅費の単価等を見直すことにより縮減を図り、概算要求に▲0.5百万円反映した。</p>	
補記(過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
<p>【参考ホームページ】 ヤング・リーダーズ・プログラムURL : <a href="http://www.mext.go.jp/english/highered/1304786.htm">http://www.mext.go.jp/english/highered/1304786.htm</a></p>			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	0411	平成23年行政事業レビュー	0173

※平成23年度実績を記入

A.文部科学省  
23百万円

旅費  
庁費  
謝金

19百万円  
3百万円  
1百万円

〔ヤング・リーダーズ・プログラムを実施するにあたり、募集要項の印刷等、現地選考試験、有識者による推進協議会の開催等を実施する。〕

(注)本事業において百万円を超える契約はない。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を  
行っているか  
について補足  
する) (単  
位: 百万円)

A.文部科学省			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
旅費	教員派遣旅費	19			
印刷製本費等	募集要項印刷等	3			
謝金	推進協議会委員謝金	1			
計		23	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途  
 (「資金の流れ」  
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)